

非暴力直接行動

No. 125
5/5 '82

● 戦争抵抗者インター日本部 略称 ウリ ● 大阪市阿倍野区旭町2-12-2 ●

war resisters' international



『花の応援団』こそ力やねん

— じつじつの運動論・不払い連の戦略戦術 —

▲ 不払い連の講座では、いつも、誰かが自分なりの「不払い連は何やねん」というのを、前座で十分聞かせることになってます。今夜は私に当たってるんですが、どうしたらええんか、困ってしまつて、それで対談風にするという新手法を思いつきました。エート、あつ、多田さん、ちょっと助けてくれへん。なんか出てきて...

あのお、なんでもええながら、あんた不払い連について、思いついたこと質問してみて。

支払い連？ 不払い連？

● エッ、そんな... うち講座に出たんもこれで二回目やし、何も知らんのに... そんなら、固い固いと思てたこと一つだけあるねん。

うちの「良心的軍事費拒否の会」は、自衛隊のための税金は払わん、ゆつてるやろ。不払い連も、原発のための電気代は払えんゆつてる。うちらで同じや、そつ思て、うち、応援しよつたんよ。

それが、なんやの、いつのまにか宗旨がえしてるとはナニゴトや。▲ エー？ 何のこと、それ。

● 不払い連が、支払い連合(う)名まえに変わってる(う)はなし。「日高に原発たてさせへん」のやつたら電気代払るたらアカンやないの。

▲ ああ、そのことか(い)な。去年の春頃、略称は「不払い連」はそのまま、正式名称は「支払い連合」に変えたんよ。



● それぞれ、十体どつ(う)ことや。

▲ あのな、不払い連(不払い連)うてるけどな、うちら不払いしたことないねん。ずうっと、はじめから、電気代払ろてきてる…

● ええっ? 電気代払ろてる。それで不払い連! げげやないの。

▲ そう云うやろ。そいでな、みんなに判りやすく実体に即した名まえの方がええゆうことになって、支払(連合)になったんや。

● そしたら、電気代払う運動やんか。あほらしい、電気代払うべから誰でもしてるのこ。

▲ そこや、誰でもしてる。誰にもできる。それを積極的(積極的)にやる(う)ことに意味がある。

がんばるのは『少数派』

● うちが聞きたいのは、電気代払ろて、ごないして原差止めるんや、ゆうことや。うちらの軍事費拒否の会みてみ。世間さまから非国民(非国民)といわれようと、あくまで拒否(拒否)や。軍事費分の税金返せ! や。

▲ あのな、電気代「払う」ゆうことやけど、実際はわたしらに「払」わされてる。「取」られてる。「文句」ひとつ云われへん。それで「払」わされる「の」やなく、うちらは、ちやんと「払」う、払ろたるやないか」という、やり方でまづ払おう(う)というわけや。

● 具体的にはごないするのん。

▲ 毎月、営業所に早收期限(早收期限)日ぎりぎりの何月何日何時分まで、自分の都合(都合)の良(良)い時間をハガキで指定して、取りにきてもらう。

そうしたら(そうしたら)関電(関電)の正社員(正社員)が、雨が降(降)っても槍(槍)がぶ(ぶ)っても、その時刻(時刻)がきたらカーン(カーン)ゆうて取りにきはるわ。早(早)よ来(来)すぎたら、家のま(ま)で足(足)がみ(み)して待(待)ってやる。

これがほんまに「払う」ゆうことや。

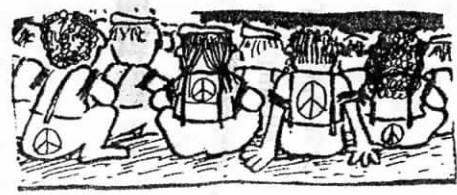
● ごんな払(払)い方(方)でも払(払)ろたら同(同)んじやないの。金はむこう(むこう)のもんやし…集(集)めたお金(お金)で原差(原差)が立つ(立つ)…

▲ ま、もうちよ(もうちよ)と(と)き(き)いて。その指(指)定(定)目(目)払(払)い(い)やるのが一人(一人)やっ(や)たらど(ど)う(う)ち(ち)ゆう(ゆう)こと(こと)も(も)ない。けど、同(同)じ(じ)業(業)務(務)所(所)で一人(一人)が二人(二人)、二人(二人)が四人(四人)、四人(四人)が八人(八人)、八人(八人)が十人(十人)、十人(十人)が千人(千人)にな(な)って、同(同)日(日)同(同)時(時)刻(刻)カーン(カーン)ゆう(ゆう)て、電(電)気(気)代(代)取(取)り(り)に(に)こ(こ)い(い)と(と)指(指)定(定)し(し)て(て)み(み)、い(い)か(か)に(に)天(天)下(下)の(の)関(関)電(電)とい(い)え(え)ど(ど)も、電(電)気(気)代(代)取(取)り(り)に(に)き(き)と(と)う(う)て(て)も(も)全(全)部(部)は(は)取(取)り(り)に(に)こ(こ)ら(ら)れ(れ)へ(へ)ん。さ(さ)あ(あ)え(え)ら(ら)い(い)こ(こ)っ(っ)ち(ち)や(や)。

電気(電気)事(事)業(業)法(法)で、期(期)限(限)日(日)にお(お)く(く)れ(れ)た(た)電(電)気(気)代(代)は(は)遅(遅)收(收)料(料)金(金)と(と)ら(ら)な(な)ア(ア)カ(カ)ン(ン)こ(こ)に(に)な(な)っ(っ)て(て)る(る)。け(け)ど(ど)落(落)度(度)は(は)関(関)電(電)や、そ(そ)んな(んな)も(も)ん(もん)払(払)え(え)ま(ま)せ(せ)ん。と(と)い(い)う(う)て、「事(事)業(業)法(法)違(違)反(反)」し(し)て(て)「お(お)ま(ま)け(け)し(し)ま(ま)す」と(と)は、う(う)ち(ち)ら(ら)に(に)は(は)高(高)単(単)に(に)云(云)われ(れ)へ(へ)ん。

と(と)い(い)う(う)わけ(け)で、「支(支)払(払)う(う)云(云)う(う)て(て)る(る)の(の)に、つ(つ)い(い)つ(つ)に(に)不(不)払(払)い(い)す(す)る(る)か(か)も(も)し(し)れ(れ)へ(へ)ん(ん)不(不)払(払)い(い)連(連)」と(と)い(い)う(う)こ(こ)と(と)に(に)な(な)る(る)。

● そうか、わ(わ)か(か)った(た)。う(う)ち(ち)ら(ら)と(と)同(同)じ(じ)順(順)法(法)闘(闘)争(争)



▼ 使用済の切手、国鉄切符のコレクションをしています。これをあそび送(あそび)りした切手も切(き)り取(と)りてま(ま)と(と)め(め)てあ(あ)そ(そ)び(び)送(送)り(り)下(下)せ(せ)い。

応援してくれたね。暴走族みたいな兄ちゃんが、「おまわり横暴だぞ!!」なんていうて。

▲「そや、なかには、頭かくして、おまわりに見えないうようにして、「がんばれ、がんばれ」なんていうてる男の姿もいたっけ。

●「で、みんながわいわい云うんで、とうとう、おまわりの方が帰って行ってしまった。あれ、野次馬応援団の「カ」や。

応援団があんなにぶえたら、誰をどう取り締まっていいたかわからへんもんや。

『宣伝戦争』の意味

▲「それで、うち思うんやけど、この応援団を敵の方はすくおされてる。原産地の住民に対しては、マンツーマンで、金でツラはってでも、攻めおす方法があるけど、都会の人向にはどうはらん。

で、「エネルギー危機」「石油のつさは原産地」と宣伝して、「原産地ははり」として野次馬の舌をつくりあげる。

「豊かなくらしを守るため、現地の多少のキセイもしようがないやんか」(1)つわけで、あべこべに「現地」と小数の原産反対派を、野次馬の舌で包圍してしまつてつのが、(1)ま都市でやってくる敵サンのキヤ。

としたり、何よりもまずつちつちとして、この関係を転換させて、逆に政府・国電をとりまく野次馬をつくらなアカン。

といても、日頃ばてんでバラバラで、結がっているか結が

ってないかわからんでもええねん。なにかの時、ふと耳にし、心におぼえていた、「サギ師團電出てこーい」「靈気代払うたれへんぞー」「原産・

原産一字のちがひ、いずれにしても地獄行き」「や、てますか、健康法、原産ひとつですべて

ムダなんていうことは、うちをとりまいた人の心の中で大きくなって、「そやそや、がんばれ」とばかり、ワツと声になる。何というても、その仕事を日常的にえいえいとやり続けること、それが運動やと思てるねん。

●「ふうん、それが不払い連のいうてる「宣伝戦争」(1)つことやな。そやけど、いつワツと大きくなるの。」

▲「それや、自分らだけの努力と力で、そんなことができるとは、とてもおもわれへんやろ。ワツと大きくなるのは状況ゆづか、時の流れ(1)つか、何かのキッカケをつくりだす歴史のつぎキーの中で、い

ろんな分野でのそれぞれの運動がそのとぎ(1)せ(1)に舌をあげる、と(1)つことができてこそのことや。

●「あんたエライ奈未家やなア」

▲「そらや、運動に目にもみえての効果を求めてたら、そりゃむなしなうてくたびれてしまつわ。」

つちつちのやり方が軽薄やとが、ちよつとふまじめやとが云われるけど、運動がつく(1)つのは、絵を描いたり、映画をつくるのと同じや。しんどいのも自分のたのしみ(1)つちで、おも(1)るおもしろ

やる(1)つこと自分で元気になる(1)つことやと思つねん。

●「ふうん、そやなあ。人がふえへんでも落ちこむことないねん。



土人

開いの創造性と日常性あふれた紙面

社 山ビル
240724番
版 22609番

最近の社会を
スの方向と編集

4 (トイアウツと)

A 行間がせまい。その行間すらなくて、固まりのようにつづついているところもある。(行と行の間隔は、原則として)或は絶対的に(一字分と)

B 余白がない・びっしりとつまっている。(余白は表の中の裏・都市の中の公園のようなもの。余白を大切にしたいビラは裏を取られやすい)

C 字体にクロがある。(ロケット系の字体は、すぐそれと判つて、いくら上手でも指を反応をおこす)。遠筆だがよみにくい。字と字(線と線)がくっついて、またない感じ。下手でよい。よゝ気がしない。(素直で、わかりやすい文字を練習すること。上手でなくても、はつきりした字体をかくこと。文字をかくのでなく、ワケ内に、かつちりをおかぬで、ハミ出さず、はみ込まず、同じ大きさで、因果、或は字模様を画くようにかくこと)

D 全体として、変化がない。焦臭あるいはマクドントがよい。平仮である。雑塗としている。目にまずぼつとぼつと入ってくるものがない。それをもつて具体的にトナラ

① 題字・タイトルが弱い。(大きさ・位置・印刷の濃さ・キマツチフレーズとしての内容・意味)

② 漢字が多い。センテンスが長い。区切りがない。かたくなるしく、ムズガシイ感じ。又は、ぼろぼろして、くりとめがよい。

③ 大見出し・小見出し・カット・文章・絵などの活用が

全無忘れられてる。(ビラの文章は、短かいほどよい。視覚に訴えるために、見出しは、とても重要である)

E その他一補遺

① こりすぎで、かえって、部分同士が印象を弱めあっている。技術がある程度あるための、自分の趣味的自己満足になっている。つついっ余白までかき込んでしまう)

② 印刷での、上・下・左・右へのかたより・センターのズレ。

③ 肝心な項目の省略。或はあとで気付いての、山々く自立たないところへの書き込み。(例之は、集会案内の場所の道標・地図電話番号・あるいはビラ発行者の住所連絡先や氏名などが抜けていることは、スキージャンプで10メートルとんで着地で、マへ倒したようなもの)

④ ビラの表と裏。受け取り手は必ず表がらみるとは限らない。裏もまた、表のようには、一見して、ウラをひつくりかたしてみる

そのまま丸め込まれたら、表がどんなによくて、ビラの役割を果たさない。(ウラを表同様に大率につくること)



ヒロト島事務所事務

さて、へビラの二段階として、自分の(或はひとの)つくりのビラをみながら、以上にあげた 1~4 (A~E) の各項目を順番に、例えば電車運転手が運転中の手帳を拝見して確認は、まじりに、一つ一つを押しつけて見検すれば、ともかく、ダメでないビラがつくれることはまちがいない。(このころは、知れどファミックス印刷

▼不払い連日いは教室は、いよいよこれから、裏技にはいりませす。ピラをつくらうというか、ぜひ一度、キキ目てきめん。

で、版下は切り張りできるから、いくらでも修正できる。
「だがこれは、まだまだ序の口。鉄砲はタマをとめ equal 等をあわせ、引金をひけばよい、とリクツで判れば命中するわけじやない。そこで出てくるのが、とくに4に列記した「ライマウ」などの、技術的な要員、コツの熟知ということになる。例をば、

タイトルをつけず、構図の配置ひとつで、ピラの印象は一変する。ドラ、その具体的な習得の上で、いよいよ本番。——
つまり、ピラは何よりも内容である。(何をどうかくか)さらには、仕上げとしての、時・場所・状況に即して、ピラをどのようになくか、の尚書というわけだ。
(何井 寿)

「次々と武を」

関西新空港公聴会への抗議行動報告記

関西新空港

関西新空港の公聴会が大阪市内で開かれると知って、僕は何かやらんと、と思つた。それまで、新空港は泉州の問題で大阪市に住んでいる僕にとつて、気にはなるものぢやない。ちよつと離れたものとしてしか考えられなかつた。

ところが、大阪市内でも公聴会を開くというので、いっぺんに新空港のことが自分につきつづける思いがした。

岸大阪府知事は、おちこちで新空港建設を認める発言をしておきながら、府民の声を聞く公聴会を開くなどというキマンは許されへんと思ひ、公聴会発言者の応募ハガキを出した。

ハガキを出したからといつて、反対意見を言つつもりは、はじめからなかつた。公聴会を運営することは、それを認めたことにはなる。公聴会そのものに反対しているのだから、発言者に当たつたとしても発言せず何かをするなどしては、なかなかに返事があきらめていたが、四月十九日になつてハガキが届いた。

二十一日、一時間前府庁につく。会場は赤十字会館の方でマイクの音が聞える。反対グループが大坂城公園で雨の中、集会をしてい

た。やがて、会場前では雨をままたす。止めようとする警官のりりがあったが、そのまま進行しているのをながめていた。戻す家を出たところから少しづつ脚が高鳴

つてきている。一時四分会場に行く。受付で発言者であることを伝えると職員が一人つき、会場内席まで案内する。会場に入るの前方中央に壇壇があり、向かつて左前方が大坂府、右側が僕のすわる発言者の席、右側の席にさつとテレビ、新聞のカメラが並び、さつと新聞記者が座つてゐる。そして傍聴者、会場内はほとんどが男。そしてマイクをさしてゐる。笑い声ひびく。会場は、それがつくりにさつと緊張つめた雰囲気。ますます動揺が激しくなる。

やがて、岸が開会のあいさつをし、くじで発言の順番を決める。早い方がエエと思つていたが僕は七番(二十人中)だった。

やがて発言が始まる。雨が降っているせいもあると思つて、顔

寒く身が冷たい。六番が終わつた。僕は立ち上がり、壇壇へと歩いてい

「岸さんは、これまで「新空港建設に強い反対の言はない」「新空港建設は府民共通の認識」などと勝手に発言しています。岸さんは新空港建設を認めているわけでは、そのように発言しておきながら、府民の意見を聞く、公聴会とはどういふ意味があるのでしょうか。私はキマンでしかないと、思ひます。私は新海に反対するものとしてこの公聴会に反対します。私に与えられた五分間を沈黙して抗議します。僕はゆつこりと、大きな声で言つて、さつとこころから、用意してきた標榜標(「新空港建設のための公聴会は許せぬ」と)を取り出し両手に顔の前に向けてひらけた。

五分間は長い。手が震れてふるえてくる。思つていた通り職員は止めにこなし、ヤジひびく。カメラのシャッターの音が聞ええ。やがて五分経過の合図、欄欄標を紙袋に入れ、ふところから理徳太子のかわりに岸の写真にした自作のパロディピラを取り出す。まず岸の頭上に十枚ほどバラま

まく。成功。つづいて百枚ばかりの束を傍聴者の頭上に投げつける。ところが、これが空中でバラけずそのままの塊になつて……僕は気にはなりつとも後ろは見すに、さつと退場した。

公聴会に反対しているもの、存在をアピールすることについてはうまくい

はつた。沈黙が、この場合最大の武器となつた。形式通りの抗議行動(会場前での集会ピラまき)だけでなく、敵の土俵の

中でも、こちらのペースでやれることはある。敵の対応、こちらの行動を考へて当日は臨んだが、そのことがまた楽しかった。これからも大阪で、新空港反対を言つてゆきたいと思つた。

坂口誠也

(大阪の地下鉄の空気をよくする会)

●岸知事にとつてこの五分間の抗議行動は、さつと緊張つたものぢやない。ちよつと緊張つたものとして、朝日(毎日)などとしてテレビの公聴会録音が、いっぺんこのスゴイ沈黙の瞬間を特筆し、映し出したことでも、半は明らかだと思ふ。さつと坂口君!

(を)

社会タイムス 5/2

宇利乃奈加乃乃あ以古とば喫天尔乃里世

振替・大限一三三三七 ウリジャパン 何弁 寿

5月4日(金) 7時 つゆくさ小庭(06-353-8956夜)

「がんばっているが、ぼくもがんばってるぞ!」

—市民運動・住民運動のつながりを求めて(仮称)—

僕は吉田さんというおじさんと二人きりで地下鉄の空気よくする会。というのをやっています。

市や交通局などに向けあいに行ったりする時は、友達や知り合いが助っ人にかけてくれるのでとても助かっています。

ついでこのまもなく地下鉄の駅でのゲリララッパターには20人もの友人がかけつけてくれて、新聞やテレビでも大きくとりあげられ、すごい宣伝になりました。

日頃は、それぞれのことに集中していても、いざという時にはかけつけてくれる助っ人の関係(連合の思想)の重要さをこのところ痛感しています。

僕たちと同じように、ごく少数のグループというのは無数にあると思います。だって、この世は向願だらけなんだから。

僕は、この助っ人の関係が、個人的な知りあいをこえた、もっと多くの、遠い知らない関係の向で創り出せないものかと考えています。

きっと思いは、みな同じだと思います。

そこで、よびかけます。つながりをつくりだす、その第一歩も踏み出すために、ひとつの集いをしたいのです。ぜひ思いを同じくする、あなた。待っています。(坂口)

ウリ・ヤング なつとも講座
「イメージ・イメージ・便利さへの挑戦」

きつと僕と同じように君も仲間をもとめているにちがいない。僕と同じようにまだ何をやっていいかわからない君。いっしょに頼るながめみぶをつき合わせてしゃべることからはじめてみないか。君を待っている。(立木)

5月19日(水) 6時半 つゆくさ

日高に原発たてさせへんぞ

電気料金支払い連合 —
いろは教室—

〈ビラの 仕方、わたし方〉

さあさ、よってらっしゃい
みてらっしゃい。ビラは戦争でゆうたろ鉄砲の玉。宣伝戦争の玉は、どうがなくては始まらない。数撃ちやあたるやり方は敵のやり方だよ。(ガン)

5月23日(日) 三時半 天王寺公園
「あなたは死刑に賛成ですか」

人殺しがいけないこととなり、国家がする人殺し—死刑—も当然許されないことだと単純に思っていた私は、意外と死刑に賛成の人が多い(ハルチ)事実に出会って、あらためて、この問題の根の深さを知らされた。
公園の真中に模擬死刑台をつくってみようと思う。(ふう)

和歌山 日高町
原発を建てないで
5月29-30日
夜には交流会
交通と・¥2500
泊りか ¥4500
申し込みは 5月19日(水)まで
0726-73-8625

いってみるのモ
いって思うヨ
どうなとこか
お電が
原案を建て
とこにこころ

日高町7-70